

使い方

- まず自分で考えてみましょう
- どうしても分からないときだけ、ヒントを見ましょう
- ヒントを見たら、もう一度自分で考えましょう

Q2 のヒント

アプローチ: 一の位どうし、十の位どうしを別々にひき算しましょう。**キーワード:** 位ごとのひき算

Q3 のヒント

アプローチ: 一の位で引けないとき、十の位から1借りてきます（繰り下がり）。**キーワード:** 繰り下がり

Q4 のヒント

アプローチ: 小数点の位置をそろえて、整数と同じようにひき算します。繰り下がりに注意。**キーワード:** 小数のひき算、小数点をそろえる

Q5 のヒント

アプローチ: まず買ったものの合計を出してから、持っていたお金からひきましょう。2段階で考えます。**キーワード:** おつり、合計、ひき算

Q6 のヒント

アプローチ: かけ算九九を逆に考えましょう。「 $6 \times ? = 24$ 」です。**キーワード:** わり算はかけ算のぎゃく

Q7 のヒント

アプローチ: 「 $9 \times ? = 45$ 」と考えましょう。**キーワード:** 九九の逆

Q8 のヒント

アプローチ: 「 $4 \times ?$ が 29 に一番近くなるのは？」と考えます。ぴったり割り切れないときは「あまり」を書きます。**キーワード:** あまりのあるわり算

Q9 のヒント

アプローチ: 「 $12 \times ? = 96$ 」です。12の段を順番に考えてみましょう。**キーワード:** 2桁のわり算

Q10 のヒント

アプローチ: $84 \div 7$ を計算しましょう。割り切れるかどうかも確認します。**キーワード:** 等分、あまり

Q11 のヒント

アプローチ: 分母が同じとき、分子だけをひき算します。**キーワード:** 同分母のひき算

Q12 のヒント

アプローチ: 帯分数は、整数部分と分数部分を分けて考えましょう。分数部分だけひき算します。**キーワード:** 帯分数

Q13 のヒント

アプローチ: 分母がちがうとき、通分してから計算します。6と3の最小公倍数は？**キーワード:** 通分、最小公倍数

Q14 のヒント

アプローチ: まず通分します。6と4の最小公倍数は12です。分数部分で引けないときは、整数部分から1借りてきます。**キーワード:** 帯分数の繰り下がり、通分

Q15 のヒント

アプローチ: Q13と似た問題です。分母をそろえてから（通分してから）ひき算しましょう。**キーワード:** 通分、分数の文章題

Q16 のヒント

アプローチ: 小学1年生で習う基本的な漢字です。身のまわりの自然に関係する漢字です。**キーワード:** 小1漢字

Q17 のヒント

アプローチ: 日常生活でよく使うことばです。声に出して読んでみましょう。**キーワード:** 小2-3漢字、熟語の読み

Q18 のヒント

アプローチ: 文の意味から読みを思い出してみましょう。音読みが多い熟語です。**キーワード:** 音読み、小4漢字

Q19 のヒント

アプローチ: ニュースや教科書でよく出てくることばです。音読みの組み合わせです。**キーワード:** 小5-6漢字、時事用語

Q20 のヒント

アプローチ: 同じ漢字でも、単独で使うとき（訓読み）と、ほかの漢字と組み合わせるとき（音読み）で読みが変わります。**キーワード:** 音読み・訓読み、多読字

一般的なアドバイス

- 算数：式を書いてから計算すると、まちがいが見つけやすくなります
- 漢字：声に出して読むと思い出しやすくなります
- 分からない問題はとばして、あとから戻ってきましょう